

第2回 佐鳴台中学校運営協議会

令和5年10月20日
13:15～15:15
会議室(2階)

校内授業参観(13:15～13:45)

開会 開会要件(委員の過半数の出席確認) 〈司会:坪井、記録:城本〉

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長選出(出席した委員の中から互選)
- 4 前回の会議録確認
- 5 熟議〈議長: 〉
 - (1) いじめ防止基本方針に基づく取組み
 - (2) 前期学校生活アンケート結果についての検討
 - (3) 全国学力・学習状況調査の結果
 - (4) 外国につながる生徒の『放課後勉強会』の実施状況

- 6 報告〈司会:坪井、記録:城本〉
 - ・夏休みの学力補充学習(中野委員)
 - ・3年生の面接練習

- 7 連絡
 - (1) 学校運営協議会自己評価表について【〆切11月10日(金)】
 - (2) 次回 令和6年2月22日(木)13:15～15:15 佐鳴台中会議室
 - (3) 令和5年実態把握調査(地域住民)について

閉会

第2回 学校運営協議会出席者

学校運営協議会委員

会長	栗田 高典(くりた たかのり)	佐鳴台中元PTA会長
副会長	橋本 博行(はしもと ひろゆき)	連合自治会長
委員	中条 操 (ちゅうじょう みさお)	元自治会長
委員	嶋津 歌絵(しまづ うたえ)	佐鳴台地区民生委員 児童委員協議会会長
委員	大塚 幸作(おおつか こうさく)	保護司
委員	大屋久美子(おおや くみこ)	主任児童委員
委員	中野 昭良(なかの あきよし)	学校支援コーディネーター
委員	鈴木 秀昌(すずき ひでまさ)	PTA会長
委員	高御堂仁美(たかみどう ひとみ)	PTA副会長

オブザーバー

佐鳴台協働センター	武田貴久子(たけだ きくこ)
-----------	----------------

学校

校長	守屋謙一郎(もりや けんいちろう)
教頭	門名 由佳(もんな ゆか)
C S 担当教職員	坪井 秀臣(つばい ひでおみ)
C S ディレクター	城本 絵美(しろもと えみ)

浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子(すずき ようこ)
-------	----------------

学校運営協議会 年間計画

令和5年4月1日～令和6年3月31日

※委員の過半数の出席がないと開催はできません。

※感染症の感染拡大防止等、状況により開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時会場	主な内容 熟議のテーマ等	
1	6月16日(金) 13:30~15:30 会議室	(1) 学校運営の基本方針について(校長) (2) いじめ防止等のための基本的な方針について(教務) (3) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について(教頭) (4) 学校運営に必要な支援について	
2	10月20日(金) 13:15~15:15 会議室	(1) いじめ防止基本方針に基づく取組み (2) 外国につながる生徒の『放課後勉強会』の実施状況 (3) 前期学校生活アンケート結果についての検討 (4) 全国学力・学習状況調査の結果	学校運営協議会自己評価表 11月10日(金) 〆切
3	2月22日(木) 13:15~15:15 会議室	熟議テーマ(例) (1) 学校関係者評価について 学校の自己評価説明→改善策について (2) 次年度学校運営の基本方針について (3) 学校運営協議会の自己評価 (4) その他(夢育やらまいかCS加算分の報告)	

いじめ防止基本方針に基づく取組み

①いじめ対応研修【4/26(水)】 → 教職員対象

- ・いじめの「未然防止」、「早期発見」のために学校でできることを確認した。
- ・いじめに対し、組織として、迅速かつ適切に対応していくための共通理解を図った。
- ・「いじめ対応の手引き」のいじめ早期発見チェックリストを活用して、これまでの振り返りと、気になる生徒のリストアップを行った。
- ・いじめ対応の記録の仕方や、聴き取り時に意識すること、被害者・加害者周りの生徒への支援など、解決に向けた具体的な対応を確認した。

②生活目標の反省・こころのけんこうチェック【月1回】 → 生徒対象

生活アンケート【学期1回】 → 生徒対象

- ・いじめの「早期発見」のため、アンケートを定期的に行い情報を集め、早期対応へつなげた。
- ・学級、学年、部活動内における生徒同士の間関係のトラブルや、仕事や役割を一部の生徒だけがやるのではなく多くの生徒が経験できるようにしてほしいなどの意見が挙げられた。

③人間関係プログラム（人プロ）【年10回】 → 生徒対象

- ・ソーシャルスキルを身に付けるためのプログラムを行い、円滑な人間関係づくりの一助とする。

④リーダー研修【5/12(金)、6/13(火)】 → 1・2年生対象

- ・アサーション（非攻撃的自己主張）トレーニングを通して、相手の気持ちも大切にしながら自分の気持ちを伝えるスキルを身に付ける。

⑤情報モラル講座【7/18(火)】 → 生徒対象

- ・「SNSとの正しい付き合い方」をテーマに、SNS利用のメリットやトラブルを未然に防ぐ方法について学んだ。

⑥ヤングケアラー研修【7/5(水)】 → 教職員対象

- ・ヤングケアラーに対する理解を深め、学校でできる支援や外部機関との連携について研修を行った。

学校生活アンケート分析（R5.7 実施）

<「生徒がよりよい未来を創るために必要な資質・能力を育む」ことを基本方針として、活動の見直し、教育活動の改善を図っていく>

○「学校生活は楽しいですか」

→ 「そう思う+大体そう思う」95.1%

- ・昨年とほぼ同じ水準で移行しているが、「そう思う」が約15%上昇しているため、本年度の教育活動はうまくいっていると考えられる。そのため、後期の計画も予定通りに継続しながら教育活動を進めていく。

<主体的な学びを推進していき、タブレット型端末が学びを支えるツールとして活用できるように研修を進めていく>

<複線型の学習を導入し、授業改善、学力向上を図っていく>

○「先生は、勉強が分かるように教えてくださいか」

→ 「そう思う+大体そう思う」99.1%

○「先生は、「知りたい」「やってみたい」「できるようになりたい」と思うような授業をしてくれますか。」

→ 「そう思う+大体そう思う」96.7%

○「タブレット型端末を活用することで学力が向上しましたか」

→ 「そう思う+大体そう思う」87.1%

- ・本年度、研修を進める中で複線型授業の実践やタブレット型端末の活用が生徒たちにとって良い方向に進んでいたことが伺える。先生方も後期の授業研究や研修を今後も継続・維持していく。

<一人一人の生徒をサポートする体制づくりを強化する>

○「先生は、頑張っていることをほめてくれたり、困っているときに助けてくれたりしますか」

→ 「そう思う+大体そう思う」97.0%

- ・日頃から先生方が生徒の近くに寄り添い、声掛けをしていただいていることで、安心感につながっていると考えられる。今後も一人一人への声掛け、「さなる」へのコメント、掲示物へのコメントなど生徒の安心感につながる活動を継続し、よりよい環境づくりを行っていく。

<「人間関係プログラム」を通して、人間関係のトレーニングを進める>

●自分のクラスは楽しく、教室は安心できる場所ですか

→ 「そう思う+大体そう思う」89.0%

（そう思うが約1%上昇、大体そう思うが約4%下降、全体として約3%下降）

- ・2学期以降も「人間関係プログラム」を実施していき、さらに人間関係の向上・強化を図っていきたい。
- ・教員アンケートの「そう思う+大体そう思う」は100%であった。先生方は、教室には不安に思っている生徒が存在していると考え、そのような生徒が安心できるような学級の雰囲気づくりを行っていく。また1人になりやすい生徒などを注視しながら声掛けを行っていく。
- ・保護者アンケートに厳しい意見もいただきましたが、先生方が早期対応をしていただいたり、サポートしていただいたりしていることで、年度当初よりも落ち着いた雰囲気も作り出されている。これまでの指導を継続し、さらなる成長を促していく。

令和5年度 全国学力・学習状況調査について

中学3年生を対象に行われた、全国学力・学習状況調査（国語・数学・英語）の本校の状況です。

国語

平均正答率は、全国と県とほぼ同じである。

- 「我が国の言語文化」に関する事項（歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと）の正答率が高い。
- 「文脈に即した漢字」を正しく書く事項の正答率が低い。→漢字の書き取りを継続し、語彙を増やしていく。
- 文章の内容を理解し、要旨を把握する問題の正答率が低い。
 - ・文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結びつけて、理解したことや考えたことをより具体的で明確なものにしていく。
 - ・発表や話し合いの機会を増やし、「自分の意見を述べる」力を向上させていく。その後、段階的に5W1H（いつ、だれが、どこで、何を、なぜ、どのように）の整った文章で自分の考えを書く練習を増やしていく。

数学

平均正答率は、全国と県を大きく上回っている。

- ほとんどの問題で正答率は上回っていた。特に「関数」の正答率が高い。
- 「分数の文字の計算」での正答率が低い。
 - ・文字計算が苦手な生徒の基本的な知識・技能を定着できるように個別の課題に取り組みさせていく。
 - ・自分の意見や考えを論理的に説明できるように問題解決の過程や結果を振り返って考える機会をつくる。

英語

『聞くこと』『読むこと』の平均正答率は、全国と県を大きく上回っている。

『話すこと』の平均正答率は、全国を少し下回っている。（県の記載はなし）

- 「情報を正確に聞き取ることができる」の正答率が高い。
- 『話すこと』では、出題内容をしっかりと理解できておらず、解答内容の一部に間違いがあったり、条件を満たしていなかったりするものが多く見られた。
 - ・授業内でパフォーマンス活動を行い、自分の考えを正しく表現・伝えられできる機会を増やす。

※全体として県・全国よりも良い結果である。ただし無回答率が記述式の問題で高く、「問題文を理解できていない」「できないとあきらめてしまう」などの傾向もあるように感じられた。

生徒質問紙

<主体的で、対話的な深い学び>

「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」91.9%

「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」91.9%

○課題解決に向け、自ら考え、取り組むことができ、話し合い活動を行うことで学びが深まっていっていることを実感できている生徒が多く見られた。

<ICT 機器の効果的な活用の推進>

「授業で ICT 機器をしましたか」98.6%

「ICT 機器を使うのは勉強に役立つと思いますか」96.0%

○ほぼ全員が普段の授業で ICT 機器を利用していることが、生徒にとっての学習理解につながっていることが伺えた。

<複線型授業で学び方を身に付ける>

「各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」86.5%

「分かった点、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」78.3%

「学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」82.4%

△自らの考えをまとめる活動をしているが、見直しや次の学習につながっていない実態が見られた。複線型授業を実践していく中で、学び方をさらに向上させ、生徒一人一人の個別最適化を図っていきたい。

<家庭学習>

「学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか」2時間より少ない 63.5%

「土曜や日曜など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか」2時間より少ない 39.2%

△家庭学習時間が平日は1時間程度、休日は2時間程度であった。より学習の定着に向けて、学習内容が身に付いているかを検証していくことは必要である。

<外国人支援>

「外国人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい」87.8%

○身近に外国の人がいることや外国の人に接していることでよい評価とつながっていると考えられる。また本校にとって外国人支援の重要性が再確認できた。

<見方を広げ考えを深める道徳・命の尊さを考える学習>

「人が困っているときは、進んで助けていますか」94.6%

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」98.6%

「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」89.2%

○困っている人を助けたり、人と違う意見が楽しいと思ったりできる生徒が多い。これは自分・人に対して幅広い見方をすることができたり、他者を理解する力が身に付いていると考えられる。またいじめに対してもしっかりと考えることができていると考えられる。更なる向上を目指していく。

国語は全国とほぼ同じ、数学と英語は上回る結果となりました。生徒質問紙における生徒の状況は、全国・県を大きく上回っているものが多く良好な結果であった。課題（学び方を身に付ける、家庭学習）については、今後の教育活動の中でも改善できるよう進めていく。

外国につながる子どものための「放課後勉強会」

1 目的

- ・日本語理解・学習理解が十分でない外国につながる子どもに対して、学習の進め方や基礎基本の定着を図る
- ・中学卒業後の進路に向け学力をつける
- ・生徒が少しでも学習の機会を増やし、わかることが増え、学校に来ることが楽しい、授業に参加することが楽しいと感じる

2 日時（案）

水曜日 1 時間程度

- 9月20日（水） 15:10～16:10
- 27日（水） 14:45～15:45 【校内研修】
- 10月 4日（水） 15:10～16:10
- 11日（水） 14:45～15:45
- 18日（水） 14:50～15:50 【職員会議】
- 11月 1日（水） 14:45～15:45
- 15日（水） 14:45～15:45 【職員会議・教科相談】
- 29日（水） 15:10～16:10
- 12月 6日（水） 14:45～15:45 【校内研修】
- 13日（水） 14:25～15:25 【三者面談】
- 20日（水） 14:25～15:25 【三者面談】

3 対象者

- 1・2年生の「取り出し授業」の生徒を対象とする
- 保護者確認（同意書）→2学期始業式に配付し、8日（金）までに回収予定

4 学習内容

- ・ドリルパークにて、国語（漢字の成り立ち、音訓読みなど）・数学・算数（正負の数、分数の掛け算など）の学力補充を中心に行う
- ※ドリルパークとは、小1～中3までの各教科の学習内容をタブレットを使用し、系統的に個人学習するソフトである
- ・指導内容によっては、小学校のドリルを使用し、学力補充を行う

5 ボランティア団体

KSC 子どもサポーターズクラブ

代表 杉山 淳一

- ・浜松市外国人支援センターのボランティア養成講座の修了生が在籍、活動している
- ・佐鳴台小学校にて、放課後勉強会を長年実施している